

連携室だより

第 9 号

平成 16 年 7 月 21 日

発行

安曇総合病院地域医療連携室

発行責任者 曾根 脩輔

TEL : 0261-61-1455 (直通)

FAX : 0261-61-1456 (直通)

連携医インタビュー 第 2 回

愛生堂医院 窪田 義信 先生



窪田先生は明治生まれの現役ドクター。財団法人小野病院（現両小野国保病院：辰野町）の院長を経て、昭和 32 年当地に開院され、47 年間におよび医療活動を続けていらっしゃいます。92 歳になられた今でも医院での診療や往診にご活躍です。

記者；『愛生堂』という名称についてお尋ねいたします。

窪田；これはね、郷土を愛し、また郷土から愛される医院にしたいという願いがあってね。窪田医院ではだめなんです。

記者；今でも往診をなさっているわけですが、在宅医療についてお話しいただけますか。

窪田；開院する時、池田町には病院もあり開業医もそろってきたから山間部を主に診て欲しいという町長の要望があって、旧広津や陸郷などの時は別ですが、1 日に 10 数軒、多い時で 15 軒位回ったことも

あります。今でも 1 日 4、5 軒往診しています。患者や家族が僕を待っていてくれるし、僕も往診することが生きがいです。若い医師の中には往診をいやがる人もいるようだが、いろいろと立場があってできない人もあり、それはそれで自分が良いと思う医療を行えばよいし、僕は僕で信念をもってやっています。

記者；地域医療連携について先生のお考えを教えてください。

窪田；病院の医師と開業医はお互いに助け合う関係が大切で、安曇病院はとても協力的だと思っています。

記者；先生は町の芸術文化協会など医療以外にも大変活躍されていますが、最近のトピックスはいかがでしょう。

窪田；大手酒造メーカーの CM に出てくるカップのキャラクターを描いた小島功氏の画業 60 周年を記念して展覧会を企画しました。ボランティア主体の実行委員会を作り 7 月 17 日から 25 日まで池田町の福源「御囲蔵」ホール（2 丁目）で「小島功 美女と遊ぶ」と題して原画などを展示しています。

（あとがき）先生の池田町の郷土を愛する気持ちが言葉のはしほしに伺うことができ、また人が文化を生み、文化が人を育むことのすばらしさを教えていただきました。「僕の健康の秘訣は往診だよ」と笑顔満面で語るお姿に明治男の気概を見る思いがしました。

（取材記者；地域医療連携課 矢野口、横澤）

医師紹介



新井 正 あらい ただし
（産婦人科）

平成 5 年 川崎医科大学卒
『4 月から勤務しています。今までは 6 ヶ月で医師が交代していましたが、

私は 1 年間はある予定です。産科は 1 ヶ月当たりの分娩数を制限していますが、6 月から希望者に麻酔分娩を行えるようになりました。婦人科では漢方薬を中心に治療を進めております。よろしく願いいたします。』

医師の異動のお知らせ

7 月の異動です

退職 整形外科 唐澤 善幸（6/30 付）
整形外科 森岡 進（6/30 付）



新任 整形外科 中村 恒一
整形外科 若塚 康一郎

第 12 回大北南部地区病診連携懇話会を開催します

「第 12 回大北南部地区病診連携懇話会」を下記のとおり開催いたします。先生方をはじめ多くの方の参加をお待ちしております。

記

日 時 平成 16 年 7 月 27 日（火） 午後 7 時 ~ 9 時

場 所 安曇総合病院 外来棟 2 階会議室

講 演 「睡眠時無呼吸症候群について」

安曇総合病院 呼吸器科 井能 仁 医師

信州大学医学部附属病院歯科口腔外科 栗田 浩 助教授

報告事項 * 紹介率・逆紹介率 * 病診連携医登録状況 ほか

討議事項 * 開放型病院共同指導（オープンベッド）のアンケート結果について
* その他

懇 親 会 午後 8 時 ~ 9 時 （会費：1,000 円）

【6 月】 紹介率 15.13% 283 件 逆紹介数 331 件 ドック逆紹介 7 件
（紹介数 229 件 救急車 54 件）

地域医療連携室窓口

電話 0261-61-1455 FAX 0261-61-1456

Eメール az-gyomu@janis.or.jp

受付時間 平日 AM8:30 ~ PM 5:00

土曜 AM8:30 ~ PM 12:30（第 1、3、5 土曜日）

連携課スタッフの異動がありました。よろしく願いいたします。

ケースワーカー 村石 真木子（退職） 福田 光栄